



# あすかロータリークラブ

## Asuka Rotary Club Weekly Bulletin

RI 会長：K. R. “Ravi” Ravindran

地区ガバナー：中澤 忠嗣

会長：澤 光彦 エレクト：吉川 隆博

副会長：松中 久 幹事：森下 秀城

クラブ会報委員長：富士川拓也

Vol. 25 No. 30 (No. 1177) 2016 年 2 月 4 日発行

前回のニコニコ ¥5,000	前期会費預かり分 ¥855,000	今年度累計 ¥1,888,500
-------------------	----------------------	---------------------



高原の夜明け

於：長野県美ヶ原

撮影者：井上重行

### 第 1177 回 2016 年 2 月 4 日 (木)

### やまとまほろば RC&あすか RC

### 合同夜間例会

ホスト：やまとまほろば RC

於：榎原ロイヤルホテル

### 1176 回報告 2016 年 1 月 28 日 (木)

於：榎原ロイヤルホテル

### ソング

「寒い朝」

ソングリーダー 岩井 常二君

### 出席報告

	全会員	免除者	出席者	MU	出席率%
第 1176 回	54	24	41 (18)	5	95.83
第 1174 回	54	24	36 (15)	8	97.78

### ニコニコ

辰巳 林造君 本日欠席で申し訳ありません。当クラブの物故者の方々の御冥福をお祈りいたします。

### 会長挨拶

○本日は物故会員の追悼例会です。これは RI がロータリー創始者ポール・ハリスが逝去された日を含む 1 週間がロータリー追悼記念週間とされています。皆様、本日のスピーカーのお話を聞きながら、物故された会員を思い出し、その冥福を祈り追悼し、御徳を忍びたいと思います。

○昨年大活躍したラグビーの五郎丸選手、また先日大相撲で優勝した琴奨菊のルーティーンを見て、私も会長挨拶の時よく緊張するので、精神統一の為、自分なりのルーティーンを作りたいと思っています。

○3 月に家族旅行でグアム島へ行く予定をしています。向こうでグアムサンライズ RC の例会に家内と共に出席して、もう一度友好クラブ締結に向けた話をしようと思っています。

### 幹事報告

- スポンサーピンの贈呈：杉本会員、植田会員
- 後期会費納入のお願い
- やまとまほろば合同夜間例会の案内
- 2 月度理事役員会の案内
- ロータリー財団領収証の件
- 音楽を楽しむ会について

### 次回の例会

「深く国家観を考える時」

戸田守亮様

### 「物故会員追悼例会」

#### 追悼週間とは

毎年 1 月 27 日のロータリー創始者ポール・ハリス (1947 年 1 月 27 日没) が逝去された日を含む 1 週間がロータリー追悼記念週間とされています。その中で物故会員について「現役の会員が物故された先輩を思い出し、その実績の反すうに努めることは、知らず知らずのうちにクラブの人間関係や活動に深みと広がりを与えることになりましょう。この様な意味で各 RC におかれましてはこの週を迎え、クラブの物故会員を想起しその冥福を祈り、在りし日の実績を祈念することに努めていただきたい。



故 中川 治氏

1992年7月25日没

享年 55 歳

4 つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

## 中川治氏

### 深井パスト会長

みなさんこんにちは。中川 治先生でございますが、どうしても忘れられない一言がございますので、その話を追悼しながら述べさせていただきたいと思っております。多分、チャーターメンバーの方も顔を忘れておられるのではないかと思います。(澤会長から「覚えてます」の一言)失礼しました、澤会長はしっかりと覚えておられるようです。中川先生の職業分類は病院経営でした。ご存じの方はおられると思いますが、飛鳥病院の創設者で、チャーターメンバーとしてロータリークラブに入ってくださいました。顔写真が映されていますが、非常に若く 54 歳でお亡くなりになりました。ちょっと話が横にそれますが、肝臓にできる悪性腫瘍で、代表的なものは肝臓です。肝臓は、2 つに大きく分類することができます。1 つは肝臓の細胞から発生します肝細胞癌、もう一つは肝臓の中にあります胆管で、肝内を網の目のように張り詰めぐらしており胆汁を出す管なのですが、その管に発生します胆管癌であります。肝細胞癌の方はまだ早期発見が可能ですが胆管癌が見つかりました時点ではほとんどが手術は出来ません。肝がんの中で胆管癌の発生頻度は、約一割くらいです。それでは中川先生の話に戻りますが、先生は樫原神宮前駅西出口の近くにお住まいがございました。5 月頃のある晩、私の方に「ちょっと来てくれへんか」と電話がかかってきました。中川先生とのお付き合いはロータリーに入ってからのお付き合いで、それまでは存じておりませんでした。「何かあったのかな」と思い、急遽お宅の方へ寄せていただきました。すぐ一枚の CT 画像を出されまして、「深井先生、これどない思う」と聞かれました。私自身は肝臓の方を専門にやっておりましたので、一見したら肝細胞癌ではなく、明らかな胆管癌であり、それも切除不可能な胆管癌の像をしておるのが判りました。「先生、これは大変ですよ。手術もできないし、この患者さんは、顔色もすごく悪いのと違いますか」と話をしましたら、「これ実は私の写真やねん。」とそこで先生が告白してくれました。私自身その時はどう答えたか判りませんが、多分ごまかして帰ったんだろうと思います。その後 7 月の暑い日に、お葬式がありました。勿論ロータリーのメンバー全てが参列をさせていただきました。そういうことで、胆管癌というのは、非常に珍しいですけれども、膵臓癌と同じように早期発見の難しい疾患にかかられ、そして 54 歳の短命でお亡くなり非常に残念に思っております。それでは先生のご冥福をお祈りいたし終わらせていただきます。



原田昌和氏

2002 年 9 月 24 日没

享年 61 歳

### 多根井パスト会長

原田昌和君は、昭和 17 年 1 月 1 日生まれ、私と 15 日誕生日が違うだけで、高校時代の同級生です。死亡されたのが 2002 年 9 月 4 日、ちょうど岩井会長の時でございます。在籍は 11 年 4 ヶ月で、チャーターメンバーでした。職業分類は鑿泉探鉱で原田鑿泉探鉱と言う会社をやっておられました。井戸掘りと言ったら失礼になりますが、ボーリング(地質)調査をされておりました。

原田君は樫原中央ロータリークラブ第 9 代会長の川俣さんの時の名幹事でございます、本当に良くやっていただきました。私とは高校時代からの同級生ですので、共に酒を飲んだり、彼はカラオケの好きな人で、田原本のあるスナックに入り浸っておったわけです。本当に豪快な笑い声でとても明るい性格の人でございました。ロータリーで印象にあるのは、今は情報集会と言う名称で年に 2 回やっておりますけれども、以前は情報集会と言わず炉辺会合と言う名称で集会をやっておりました。お店とかではなく各会員の家に行きテーマを決めて、会合を開催するのです。ポールハリスもホームパーティーをして会員同士の親睦を深めたと聞いております。こういう例会場では無しに、各家を持ち回って開いていたのです。樫原中央ロータリークラブで初めてのホーム集会を、実は原田君の家でやられたわけです。本当に会員宅で集まるのは珍しかったので私も凄く印象に残っています。ロータリーのことを論じ合ったこと思い出しております。60 歳の若さで旅立たれたわけで本当に残念でございます。

ご冥福をお祈り致します。



中谷宏氏

2003 年 12 月 28 日没

享年 73 歳

### 中西パスト会長

皆さん、こんにちは。私は中谷さんのスピーカーである内藤先生のピンチヒッターで登壇させていただいております。中谷さんは皆さんご存じのように「みざさ寿司」の創業者であり、吉野郡上北山村の名士でございます。みざさ寿司は現在東京にも店を出しておりますし、非常に隆盛を誇っておられます。中谷さんは 2003 年の年末に亡くなられましたが、偲

ぶ会が翌年1月にこのホテルの一番向こうの方の部屋で開かれました。その時に弔辞を読ませていただいたんですが、中谷さんは私が一番覚えていますことは、5周年の時の会長でございます。5周年は我々新しいクラブとしては、そんなに大袈裟な事はしないで、内々でこぢんまりとした5周年を迎えたらどうかと言うコンセプトがあったと思うんですけど、中谷さんがある地区の会議に行ったとき千玄室さんに、「うち、5周年やりますねん。来てくれませんか。」みたいなことを言いその後すぐお寿司を送るものですから、お寿司に皆ころんといかれるんですね。「寿司を送ってくれた中谷さんや。言うことを聞いてやらなあかん。」みたいな感じです。で、千さんも快く引き受けてくれましたので、急に5周年が盛り上がりましてですね、非常にタイソウなことになっていったわけです。私はその時、副幹事だったんですけど、今でもはっきり覚えてるんですが、「あんたがこんな事すんねんから、あんた金出しや」みたいなことを私が言ったんです。だから5周年の時にクラブでは足りない分の出費は中谷さんが出されたんじゃないかなと思っています。そういう方で太っ腹の中でも心配りがきいた方でございます、どんな人にも「コネ」を付けに行くのが上手なんです。

あるときは内藤幹事の代わりに私が中谷さんのお伴をして、RI会長歓迎晩餐会に京都ホテルに行くわけですが、会長の席はずっと前の方にあるんですけど、私達幹事、副幹事席は後ろの方にあっただんです。中谷さんがずっと向こうの方に居てはるなと思ってたんですが、食事の時にになりましたら、ツカツカと来て、「あんた何しとんねん。RI会長の所へ挨拶へ行こう」と引っ張って行かれてRI会長と名刺交換をさせられました。私は今まで25年間ロータリアンをしていますが、RI会長の名刺を持っているのはその人の1枚だけです。普通はRI会長と名刺交換なんてしないのですが中谷さんはですね、「折角来たんやから、こうせなあかんやないか。」みたいな、行った場所での人脈作りが凄く上手な方でございます、見習う点は多々あったかなと思います。5周年には榎原神宮の養正殿の横にあるモニュメントの時計塔を作ったわけです。実はその時計塔が中谷さんが亡くなった時に故障して止まったんですね。私が読んだ弔辞には「どんな偶然か判らないけれども、我々が5周年で寄付した時計が止まってしまった。」と書いてあります。あるとき、中谷さんは上北山村の商工会長もされておまして、「地域振興の為に講演に来い」と私に言われたんです。「私はなんの話をするれば」「お前漢字の事をちょっとくらい喋れよ」みたいな話で、夫婦でご招待を受けまして上北山村まで行って小学生、中学生辺りを中心に、「漢字の話」と言う講演をしに行ったことがあります。講演のあと「かみきた」というホテルで接待を受けました。

上北山村では圧倒的に存在感のある方でございます、いろいろな村の名士から歓待を受けたことを覚えております。あとは私が会長になったときに「お前が会長の時は俺は絶対来るからな」と酸素ボンベの管を鼻に突っ込んで引っ張って、学園前の自宅から来ていただいたんです。私は「そんなに無理をせんといてください。お気持ちだけで十分ですから。」と言ってたんですが、本当に病気を押して私をバックアップしていただけました。その事を話すると何か臉の裏が熱くなるような感じを持ちます。とにかく、スケールが大きく、5周年を機会に大きく発展させる原動力を作ってくれた中谷元会長であったかと思えます。弔辞の最後に書いてあるんですけれども、「ご報告いたします。“榎原中央ロータリークラブ”は今春から“あすかロータリークラブ”に変わります。」と言う報告もこの弔辞の中に入れて終わったような事でございます。



大川洋之助氏

2012年12月14日没  
享年69歳

#### 宮本パスト会長

私は第18代目会長の大川洋之助さんを偲んでお話をさせていただきます。平成25年1月17日に入会された吉田格さん以降の11名以外の方は大川さんをよくご存じだと思いますけれども、偲んでという事ですので、大川さんの歩みをご紹介させていただきたいと思えます。大川さんは昭和19年4月4日生まれで、50歳であすかロータリークラブに入会されました。61歳で私が会長の時、創立15周年の幹事をしていただきました。そして64歳で会長になり68歳で亡くなりました。18年間ロータリークラブのために、一生懸命ご奉仕をいただいた方でございます。亡くなられて足かけ4年目になりますが、ご冥福をお祈り申し上げたいと思えます。実は、彼が副幹事だった平成16年12月に急遽入院されました。丁度今くらいの時期ですから、次年度の委員会構成を作成しなければならない時に幹事が病気になり入院されたので、私の所に「ちょっと俺もう務められないかもしれない。宮本さん何とか考えてよ。幹事を務められないので他の誰かにして貰うわけにはいかないだろうか。」ということでした。「そんなことを言わずとにかくやってください。それまで私が何とかしますので、きっちり療養してください。」と言うような形で頼んだ事がありました。その頃よりずいぶん体に異変を感じていたようでありましたが、元気を取り戻してくれまして、一生懸命幹事を

務めていただいたので、「元気になられたな。」と思っておりました。しかし、2年後に会長エレクトになり、3年後に会長という非常にハードな役をしていただくことになって、気の毒に思いながらも、「この機会、大川さんも歳が歳だから、ともかく会長職をよろしくお願いします。我々も協力させて貰いますから。」と言うことで会長を受けていただいたように思います。無事会長職を全うされた頃、再び体調に変化をきたされまして、入院加療をされたのですが、先ほど申し上げましたように68歳で生涯を閉じられたと言うことであります。幹事をしていただいた最初の仕事として台北文林ロータリークラブが当クラブへ来ると言う時でした。しかし、その年はインフルエンザがものすごく流行しまして、結局急遽、台北の方々は来日出来ませんでした。こちらの方で何か応援させて貰おうとご苦労されたと思います。そして、大川さんが会長の時に高齢者に焦点を絞り「笑って触れて元気長生き」という地域の為に奉仕していただいて、その時824名の方が来場していただいたと言うことで大成功をされたときでした。これ以来、新世代ボランディアの「チームASUKA」の方々が、今も後援していただいてあすかロータリークラブの発展にご尽力いただいているところであります。また、その時に檀原市の福祉事業に協力されまして、ロータリークラブのロゴマークを付けて走っている軽自動車はその時に贈られたものです。会長年度は「ロータリーを楽しもう」というスローガンの下、自ら釣紳会や檀の実会やお酒カラオケなどに積極的に参加していました。今も我々が釣りに行くときは必ずと言っていいほど大川さんの話が出てきます。そんなことで、大川さんを偲んで今の釣りクラブも一緒に活躍しておりますので一人でも多くご入会していただけたらと思います。最後に大川さんが亡くなる10ヶ月前に頂いた手紙を朗読させていただきます。

【手紙は紙面の都合上、省略させていただきます。】  
ありがとうございました。



故 和田 忠明氏  
1999年8月26日没  
享年54歳



故 鳥居 三之氏  
2012年4月28日没  
享年84歳

和田忠明氏・鳥居三之氏

柳田パスト会長

それでは、和田さんと鳥居さんについて思い出す

ことを若干お話ししたいと思えます。

和田さんは創立の時に私がメンバー集めをしておりまして、当金庫の新ノロ支店で一人ということで、和田さんに白羽の矢を立てたわけですが、彼のお父さんがライオンズでしたので、その関係もあってなかなか「うん。」と言わなかったのですが、「新ノロ支店でぜひ一人」ということで無理を言って和田さんに入っていました。

入会后、私どもの檀原支店の前の飲み屋で彼と飲んでいるときです。何故か私が学生時代に関大のボート部にいた時の話になりました。当時のコーチ陣にいた連（むらじ）という先輩は繊維関係の会社を経営しており、その関係で商社だったか、百貨店の応援にどうしても行かなければならないと言うことで、私が2週間ばかり応援に行った覚えがありました。そのコーチの名前は言わなかったのですが、和田さんにお話ししますと、「あ、それは連さんだろ。」と彼はよく知っておりました。和田さんはふとんの製造会社の経営であり繊維関係ということでそれなりのお付き合いというかお取引があったのだらうと思っております。その後、和田さんが声をかけて連先輩に来ていただいて檀原観光ホテルで歓談したのを覚えております。それから和田さんが亡くなる前には「もう和田さんも長くはないな」と思いましたが、大変落ち着いて常に堂々としておりました事が深く印象に残っております。

次に鳥居さんですけれども、彼は当クラブの初代の会長です。吉野の税務署長をなさって退官されて、私ども大和信用金庫の顧問税理士をされておりました。メンバー集めの時に顧問税理士の鳥居先生にも入ってもらったらどうかと、当時檀原 RC のメンバーであった当金庫の大見会長に進言すると、「それはそうだ。鳥居さんに入ってもらえよ。」と言うことで、鳥居先生に快諾してもらいました。会社で言いますと設立発起人、これをロータリークラブではキーメンと申します。勿論、鳥居さんはキーメンでした。あと、参考までに申し上げますと、転勤やお辞めになった方もいらっしゃいますので、現存されているキーメンは辰巳さん、住吉さん、内藤先生、私の4名です。鳥居先生には初代会長もお願いし、私が幹事をさせていただきました。例えば当クラブの事務所探したとか。当時は今の大和開発ビルの1、2階に私どもの支店が有りましたので、その2階の一部を当クラブの事務所に使っていました。ただ鳥居先生は本当に温厚な御方で、怒るということはまずない本当に穏やかな御方でした。私事でもお願いしたら、さっとやってくれる、本当に良い御方だったなと思います。鳥居先生が初代会長に就かれたということが、当クラブが派閥も無くみんな仲良く今日まで来られた、その出発点だったのだらうと思う次第です。

お二方のご冥福を心よりお祈り申し上げます。どうもありがとうございました。